

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年12月13日 (2018.12.13)

【公表番号】特表2017-532975(P2017-532975A)

【公表日】平成29年11月9日 (2017.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-043

【出願番号】特願2017-523888(P2017-523888)

【国際特許分類】

A 0 1 G 2/30 (2018.01)

A 0 1 G 2/00 (2018.01)

【F I】

A 0 1 G 1/06 Z

A 0 1 G 1/00 3 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月29日 (2018.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

高幹接ぎ木草質植物であって、接ぎ木植物は、少なくとも 10 cm の所定の高さと直径最大 10 mm の台木に接ぎ木された草質穂木を含む、前記高幹接ぎ木草質植物。

【請求項 2】

前記穂木が、約 10 cm ～ 約 50 cm の所定の高さと前記台木に接ぎ木される、請求項 1 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 3】

前記穂木が、約 16 cm ～ 約 20 cm の所定の高さと前記台木に接ぎ木される、請求項 1 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 4】

前記穂木が、約 10 cm ～ 約 30 cm の長さである、請求項 1 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 5】

前記穂木が前記台木と適合性である、請求項 1 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 6】

前記台木が草質植物である、請求項 1 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 7】

前記穂木及び / 又は前記台木が、交配植物に由来する、請求項 1 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 8】

前記穂木及び前記台木が、ナス科、シソ科（又は唇形科）、ミゾカクシ科、キク科、ゴマノハグサ科、ナデシコ科、及びウリ科から成る群より選択される科に属する、請求項 1 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 9】

前記穂木がカリブラコア属であり、前記台木がペチュニア属であるか、又は前記台木及び前記穂木の属が、ホオズキ属、メボウキ属、ナス属、及びトウガラシ属から成る群より選択される、請求項 1 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 10】

前記台木がナスであり、前記穂木が、ナス、ツリートマト（タマリロ）、及びオオブドウホオズキ（トマティーヨ）から成る群より選択される種である、請求項１に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項１１】

前記穂木が、‘ミゾカクシ属’、‘ルリミゾカクシ’、ガーベラ属、ガザニア属、センダグサ属、ビデンス・フェルリフォリア、ステラ属、バコパ・モンニエリ、ナデシコ属、セキチク、アングロニア属、トマト、チェリートマト、イブキジャコウソウ属、ラヴァンデューラ属、オレガノ属、アキギリ属、ヨモギ属、サザンウッド、及びシリアンオレガノ　　ザーターから成る群より選択される、請求項１に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項１２】

前記穂木が、アンヌム種、パカナム種、シネンセ種、フルテッセンズ種、及びブベスケンス種、並びにこれらの組合せからなるトウガラシ種の群から選択される、請求項１に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項１３】

前記穂木が、観賞用ペッパーの変種又は栽培品種である、請求項１に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項１４】

前記穂木が、アンヌム種の観賞用ペッパーの変種又は栽培品種である、請求項１に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項１５】

前記穂木が、バジル種のものである、請求項１に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項１６】

前記穂木が、*Ocimum* × *africanum*、*Ocimum americanum*、*Ocimum amicorum*、*Ocimum angustifolium*、バジル、*Ocimum burchellianum*、*Ocimum campechianum*、*Ocimum canescens*、*Ocimum carnosum*、*Ocimum centraliafricanum*、*Ocimum circinatum*、*Ocimum coddii*、*Ocimum cufodontii*、*Ocimum dambicola*、*Ocimum decumbens*、*Ocimum dhofarensense*、*Ocimum doloimiticola*、*Ocimum ellenbeckii*、*Ocimum empetroides*、*Ocimum ericoides*、*Ocimum filamentosum*、*Ocimum fimbriatum*、*Ocimum fischeri*、*Ocimum formosum*、*Ocimum forskoelei*、*Ocimum fruticosum*、*Ocimum grandiflorum*、*Ocimum gratissimum*、*Ocimum hirsutissimum*、*Ocimum irvinei*、*Ocimum jamesii*、*Ocimum kenyense*、カンファーバジル、*Ocimum labiatum*、*Ocimum lamiifolium*、*Ocimum masaiense*、*Ocimum mearnsii*、*Ocimum metallorum*、ブッシュバジル、*Ocimum minutiflorum*、*Ocimum mitwabense*、*Ocimum monocotyloides*、*Ocimum motjaneanum*、*Ocimum natalense*、*Ocimum nudicaule*、*Ocimum nummularia*、*Ocimum obovatum*、*Ocimum ovatum*、*Ocimum pseudoserratum*、*Ocimum pyramidatum*、*Ocimum reclinatum*、*Ocimum serpyllifolium*、*Ocimum serratum*、*Ocimum somaliense*、*Ocimum spectabile*、*Ocimum spicatum*、*Ocimum tenuiflorum*、*Ocimum transamazonicum*、*Ocimum tubiforme*、*Ocimum urundense*、*Ocimum vandenbrandei*、*Ocimum vanderystii*、*Ocimum viphyense*、*Ocimum waterbergense*、*Ocimum* × *citriodorum* (*O. americanum* × バジル)、レモンバジル、カンファーバジル × バジル ‘ダークオパール’、アフリカンブルーバジル、*basilicum*、*kilimandscharicum*、*minimum*、*herbalea*、‘グローブ’バジル、‘ドワーフ’バジル、‘フレンチ’バジル、バジル変種ブッシュバジル ‘グreek’バジル、Yariv Ben Naimら (2015) Resistance Against Basil Downy Mildew in *Ocimum* Species, Genetics and Resistance 第105巻の表1に記載されたメボウキ属目録の項目、及びこれらの組合せから成るメボウキ種、栽培品種、又は変種の群から選択される、請求項１に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項１７】

前記穂木が、*Calibrachoa caesia*、*Calibrachoa calycina*、*Calibrachoa dusenii*、*Calibrachoa eglandulata*、*Calibrachoa elegans*、*Calibrachoa ericaefolia*、*Calibrachoa excellens*、*Calibrachoa hassleriana*、*Calibrachoa heterophylla*、*Calibrachoa humilis*、*Calibrachoa linearis*、*Calibrachoa parviflora*、*Calibrachoa pygmaea*、*Calibrachoa*

rupestris、Calibrachoa sellowiana、Calibrachoa spathulata、及びCalibrachoa thymifoliaから成るカリブラコア種の群から選択される、請求項1に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項18】

前記台木が、ナス科、及びシソ科又は唇形科から成る群より選択される科に属する、請求項1に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項19】

前記台木が、ヤコウカ亜科(Cestroidae)、ゴエツエオイデアエ亜科(Goetzeoidae)、タバコ亜科、ペチュニア亜科、ムレゴチョウ亜科(Schizanthoidae)、シュウエンキオイデアエ亜科(Schwenckioideae)、及びナス亜科から成る群より選択される、請求項1に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項20】

前記台木及び/又は前記穂木が、アンヌム種、トウガラシL.、カプシカム・バカタムL.、Capsicum buforum Hunz.、Capsicum campylopodium Sendtn.、Capsicum cardenasii Heiser & P. G. Sm.、Capsicum ceratocalyx M. Nee、Capsicum chacoense Hunz.、Capsicum chinense Jacq.、Capsicum coccineum (Rusby) Hunz.、Capsicum cornutum (Hiern) Hunz.、Capsicum dimorphum (Miers) Kuntze、Capsicum dusenii Bitter、Capsicum eximium Hunz.、Capsicum flexuosum Sendtn.、Capsicum friburgense Bianch.& Barboza、Capsicum frutescens L.、Capsicum galapagoense Hunz.、Capsicum geminifolium (Dammer) Hunz.、Capsicum havanense Kunth、Capsicum hookerianum (Miers) Kuntze、Capsicum hunzikerianum Barboza & Bianch.、Capsicum lanceolatum (Greenm.) C. V. Morton & Standl.、Capsicum leptopodium (Dunal) Kuntze、Capsicum lycianthoides Bitter、Capsicum minutiflorum (Rusby) Hunz.、Capsicum mirabile Mart. ex Sendtn.、Capsicum mositicum Toledo、Capsicum parvifolium Sendtn.、Capsicum pereirae Barboza & Bianch.、Capsicum pubescens Ruiz & Pav.、Capsicum ramosissimum Witasek、Capsicum recurvatum Witasek、Capsicum rhomboideum (Dunal) Kuntze、Capsicum schottianum Sendtn.、Capsicum scolnikianum Hunz.、Capsicum spina-alba (Dunal) Kuntze、Capsicum stramonifolium (Kunth) Standl.、Capsicum tovarii Eshbaugh等、Capsicum villosum Sendtnから成るトウガラシ種の群から選択される、請求項1に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項21】

前記台木が、P. alpicola、P. altiplana、P. axillaris、P. bajeensis、P. bonjardinesis、P. exserta、P. guarapuavensis、P. helianthemoides、P. humifusa、P. inflata、P. integrifolia、P. interior、P. ledifolia、P. littoralis、P. mantiqueirensis、P. occidentalis、P. parviflora、P. patagonica、P. pubescens、P. reitzii、P. riograndensis、P. saxicola、P. scheideana、P. variabilis、P. villadiana、P. ×atkinsiana、及びP. hybridaから成るペチュニア種の群から選択される、請求項1に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項22】

前記台木が、トウガラシ、バジル、トマトL.、ジャガイモ、及びナスから成る種の群より選択される、請求項1に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項23】

前記接ぎ木植物が、カリブラコア属の穂木で接ぎ木されたペチュニア属の台木、観賞用ペッパー トウガラシ種の穂木で接ぎ木されたトウガラシ種の台木、メボウキ種の穂木で接ぎ木されたメボウキ種の台木、トマト種の穂木で接ぎ木されたトマト種の台木、トマト種の穂木で接ぎ木されたナス種の台木、ナス種の穂木で接ぎ木されたナス種の台木、及びオレガノ種の穂木で接ぎ木されたオレガノ種の台木から成る群より選択される適合性の台木及び穂木の接ぎ木された対を含む、請求項1に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項24】

前記接ぎ木植物が、接ぎ木高幹若木及び接ぎ木高幹根なし原材料から成る群より選択される接ぎ木高幹繁殖材料に由来する、請求項1に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項25】

前記若木が、根付き切り穂、実生、接ぎ木高幹根付き切り穂、及び接ぎ木高幹実生から成る群より選択される、請求項 2 4 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 2 6】

前記根なし原材料が、根なし切り穂及び接ぎ木高幹根なし切り穂から成る群より選択される、請求項 2 4 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 2 7】

前記根なし原材料が、プラグトレイ中の挿入及び成長に適している、請求項 2 4 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 2 8】

前記接ぎ木高幹根なし原材料が、プラグトレイに植えられた場合の垂直安定性及び / 又は丈夫さに適している、請求項 2 4 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 2 9】

請求項 2 4 に記載の繁殖材料に由来する高幹接ぎ木完成植物。

【請求項 3 0】

前記植物が、植木鉢又は植木容器に植えられた場合の垂直安定性及び / 又は丈夫さに適している、請求項 2 9 に記載の高幹接ぎ木完成植物。

【請求項 3 1】

前記植物が、花壇用植物として植えられることに適している、請求項 2 9 に記載の高幹接ぎ木完成植物。

【請求項 3 2】

前記台木が、前記穂木との少なくとも 1 つの適合性を有する、請求項 1 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 3 3】

前記少なくとも 1 つの適合性が：幹径、成長パターン、分類学的類似性、遺伝学的類似性、解剖学的類似性、成長速度、向上された又は減少された開花、向上された又は減少された果実サイズ、向上された又は減少された果実収率、節間数、節間径、節間及び / 又は幹の色、幹の習性、台木及び / 又は穂木の木質化、並びにこれらの組合せから成る群より選択される、請求項 3 2 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 3 4】

前記台木と前記穂木との適合性が、代謝的特徴、発育的特徴、解剖学的特徴、及びこれらの組合せから成る群より選択される特徴によって引き起こされる、請求項 3 2 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 3 5】

前記台木及び / 又は前記穂木が、少なくとも 1 つの所望の農学的、園芸的、及び / 又は観賞的特徴を有する、請求項 1 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 3 6】

前記台木の、前記少なくとも 1 つの所望の農学的、園芸的、及び / 又は観賞的特徴が、強い根系、向上された幹高さ又は高幹、植物の樹勢、活発な成長、丈夫さ、ストレス許容性、生物的ストレスに対する耐性又は許容性、疾病の病原体、例えばウイルス、細菌、真菌に対する耐性又は許容性、害虫及び雑草に対する耐性又は許容性、疾病耐性又は許容性、害虫耐性又は許容性、病原体に対する耐性、昆虫の寄生に対する耐性、穂木に対する汚染物質の侵入の防止、非生物的ストレスに対する耐性、栄養分欠乏に対する耐性、改良された種子収率、改良された成長速度、前記台木及び前記穂木間の所望の相互作用、導入された矮性、導入された穂木 - 花冠の密度、向上された樹勢、前記台木の導入された丈夫さ及び / 又は太さ、向上された発芽、向上された発根潜在性、カルスからの最小の芽の分化、台木幹からの最小の脇芽、向上された台木の幹の太さ、節間の最大伸長、頑強性、真直ぐな幹、太さ、色、及びこれらの組合せから成る群より選択される、請求項 3 5 に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項 3 7】

ストレス許容性の特徴が、寒冷許容性、高温許容性、旱魃許容性、洪水許容性、塩害許容

性、イオン性植物毒性許容性、pH許容性、及びこれらの組合せから成る群より選択される非生物的ストレスの許容性の特徴を含む、請求項36に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項38】

ストレス許容性の特徴が、疾病耐性、昆虫耐性、寄生雑草に対する許容性、線虫耐性、土壤伝播性害虫に対する改良された耐性、及びこれらの組合せから成る群より選択される生物的ストレス許容性の特徴を含む、請求項36に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項39】

前記所望の農学的及び/又は園芸的特徴が、少なくとも80%の発根潜在性、80%より低いカルスからの芽の分化、90%より低い幹からの脇芽、少なくとも5mmの平均幹太さ、少なくとも10mmの平均節間長さ、及びこれらの組合せから成る群より選択される、請求項36に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項40】

前記台木が、少なくとも2つの異なった穂木と接ぎ木され、前記穂木は異なった変種に属し、そして前記台木と適合性である。請求項1に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項41】

前記異なった穂木が：花部の色、果実の形、成長パターン、香り、及びこれらの組合せから成る群より選択される少なくとも1つの異なった特徴を有する、請求項40に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項42】

前記穂木が、密な開花、独特な花の色、台木との低い又は中程度の不適合性、発育した植物からの少なくとも50%の産出量、所望の芳香、向上された果実収率、密な葉、正立の果実、小さい円錐の果実、集団状の多くの果実、異なる色、短い結節、緻密な花冠、多くの枝、未熟な果実、大きい果実、非集団状の果実、短い又は中程度の節間、活発な状態、大きいそして高い花冠、緻密さ、枝分かれ、色彩豊かな果実、甘味、辛みのない果実、非毒性、長い節間、高収率、多種の味、多種の花の色、矮性及び緻密性、根及び葉の疾病に対する許容性、花冠の形、標準的な商業的収率、ストレス許容性、密な開花、独特な色、天然の球形の花冠、匍匐性の幹、及びこれらの組合せから成る群より選択される少なくとも1つの特長によって特徴づけられる、請求項1に記載の植物。

【請求項43】

前記高幹接ぎ木植物が、対応する非接ぎ木穂木植物に対して少なくとも1つの所望の観賞的、園芸的、及び/又は農学的特徴を有し、前記少なくとも1つの特徴が：所望の観賞的又は美学的様式、向上された高さ又は高幹植物、新しい根の発生又は植物の上部からの2次根の発生の回避、剪定傷の限定、丈夫さ、強い根系、生物的ストレスに対する許容性、非生物的ストレスに対する許容性、土壤伝播性害虫及び疾病に対する許容性、寄生雑草に対する許容性、穂木への汚染物質の侵入の防止、均一性、減少された葉の黄変、頑強な成長、植物の樹勢、活発な成長、所望の香り、色、向上された花部収率、向上された果実収率、向上された果実サイズ、向上された果実の数、植物繁殖材料、例えば切り穂の向上された収率、向上された空中収率、1つの植物上の1つより多い種又は変種の組合せ、対応する非接ぎ木対照植物と類似の正常な発育、及びこれらの組合せから成る群より選択される、請求項1に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項44】

前記高幹接ぎ木植物が、最終的な商業的プランター又は植木鉢、或いは他の成長用容器に、或いは花壇に植えられる、請求項1に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項45】

前記高幹台木が、接ぎ木機械、又は他の自動化及び/又は機械式農業技術と適合性である、請求項1に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項46】

前記最終的な商業的プランター又は植木鉢、或いは他の成長用容器が、1リットル以下の体積を有する、請求項44に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項47】

前記最終的な商業的プランター又は植木鉢、或いは他の成長用容器が、１リットル以上の体積を有する、請求項４４に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項４８】

前記最終的な商業的プランター又は植木鉢、或いは他の成長用容器が、約０．１リットル～約２リットルの体積を有する、請求項４４に記載の高幹接ぎ木植物。

【請求項４９】

請求項１に記載の高幹接ぎ木草質植物に由来する、切り穂又は根なし切り穂、接ぎ木切り穂又は接ぎ木根なし切り穂。

【請求項５０】

請求項１に記載の高幹接ぎ木草質植物のいずれかの植物の部分。

【請求項５１】

前記植物の部分が、根付き切り穂、根なし切り穂、接ぎ木根付き切り穂、根なし接ぎ木切り穂、植物細胞、組織培養物、成長点、花、及び植物のいずれかの他の無性生殖又は生殖性部分から成る群より選択される、請求項５０に記載の植物の部分。

【請求項５２】

高幹接ぎ木繁殖材料であって、前記高い接ぎ木された幹の繁殖材料が、少なくとも１０ｃｍの所定の高さで直径最大１０ｍｍの台木に接ぎ木された穂木を含み、更に、前記高幹繁殖材料が、接ぎ木高幹若木、接ぎ木高幹根付き切り穂、接ぎ木高幹根なし切り穂、及び接ぎ木高幹実生から成る群より選択される、前記高幹接ぎ木繁殖材料。

【請求項５３】

- a．草質穂木植物を用意し；
 - b．前記穂木植物と適合性の台木植物を選択し；
 - c．前記台木植物を根付かせ、少なくとも８０％の発根潜在性を有する台木を選択し；
 - d．少なくとも１０ｃｍの所定の幹高さ及び前記穂木と接ぎ木するために適した成長特徴を持つ直径最大１０ｍｍの台木を産生するように、所定の農業技術的条件下で前記台木を成長させ；
 - e．前記台木と接ぎ木するために適した成長特徴を持つ穂木を提供するように、農業技術的条件下で前記草質穂木植物を成長させ；そして
 - f．前記穂木を、少なくとも１０ｃｍの前記所定の幹高さで前記台木に接ぎ木し、これによって高幹接ぎ木草質植物を産生する；
- 工程を含む、高幹接ぎ木草質植物を産生するための方法。

【請求項５４】

更に、前記台木を約１０ｃｍ～５０ｃｍの所定の高さまで成長させる工程を含む、請求項５３に記載の方法。

【請求項５５】

面積当たりの植物の数を制御することによって成長した台木植物の密度を調節する追加の工程を含む、請求項５３に記載の方法。

【請求項５６】

サイズ、セルの形、材料、密度、及びこれらの組合せから成る群より選択されるパラメータによって、前記台木を成長するために適した成長トレイを選択する追加の工程を含む、請求項５３に記載の方法。

【請求項５７】

成長培地、施肥溶液及び計画、灌水計画、温度、相対湿度、電気伝導度、照明レベル、遮光レベル、照明又は照射計画、pH、及びこれらの組合せから成る群から、前記農業技術的条件を選択する追加の工程を含む、請求項５３に記載の方法。

【請求項５８】

幹直径、幹高さ、開花時期、胚軸サイズ、胚軸長さ、結節数、結節長さ、節間数、節間直径、節間及び／又は幹の色、所望の香り、幹の習性、成長パターン、台木及び／又は穂木の木質化、及びこれらの組合せから成る群から、前記成長の特徴を選択する追加の工程を含む、請求項５３に記載の方法。

【請求項 59】

前記成長した台木の少なくとも1つのパラメーターを制御する追加の工程を含み、前記少なくとも1つのパラメーターは、胚軸サイズ、胚軸長さ、幹直径、結節数、節間長さ、木質化、及びこれらの組合せから成る群より選択される、請求項53に記載の方法。

【請求項 60】

前記台木植物を、成長の季節によるが、定植から接ぎ木まで約30日～約45日の期間成長させる追加の工程を含む、請求項53に記載の方法。

【請求項 61】

前記穂木を、成長の季節によるが、定植から接ぎ木まで約25日～約35日間成長させる追加の工程を含む、請求項53に記載の方法。

【請求項 62】

前記台木及び/又は穂木の成長を調節する追加の工程を含む、請求項53に記載の方法。

【請求項 63】

暗中退色された台木植物を得るための制御された低照射計画を適用すること、所定の波長計画を適用すること、植物成長調節剤(PGR)、例えば植物ホルモン、植物ホルモン及び化学薬品を適用することから成る群より選択される手段によって、前記成長を調節する追加の工程を含む、請求項53に記載の方法。

【請求項 64】

植物の光周期性反応に影響することによって成長した台木植物の開花時期を制御する追加の工程を含む、請求項53に記載の方法。

【請求項 65】

前記穂木を、前記台木に：重ね継ぎ、芽継ぎ、割継ぎ、腹継ぎ、寄せ継ぎ、舌状寄せ継ぎ(tongue approach grafting)、套管接ぎ(tube-grafting)、孔挿入接ぎ(hole insertion grafting)、1枚子葉接ぎ(one cotyledon grafting)、舌継ぎ、切り株接ぎ、四か所割り接ぎ(four flap grafting)、千枚通し接ぎ(awlgrafting)、切り継ぎから成る群より選択される接ぎ木技術、そして草性植物を接ぎ木するために適した他の接ぎ木技術、及びこれらの組合せによって接ぎ木する工程を更に含む、請求項53に記載の方法。

【請求項 66】

成長した台木又は接ぎ木高幹植物の支持又は成形のための匍匐化及び安定化手段を使用する追加の工程を含む、請求項53に記載の方法。

【請求項 67】

前記匍匐化及び安定化手段を、棒、留め具、花切鋏(flowers cutting)、匍匐ネット、プラスチックトレイ用枠、及びこれらの組合せから成る群より選択される追加の工程を含む、請求項66に記載の方法。

【請求項 68】

駆除剤基剤処理、除草剤処理、殺虫剤処理、殺真菌剤処理、生物学的駆除処理、物理的処理、例えば熱、寒冷、光、高圧又は真空、ガス又は液体による噴霧、液体又は油中の浸漬、及びこれらの組合せから成る群より選択される植物保護処理を適用する追加の工程を含む、請求項53に記載の方法。

【請求項 69】

接ぎ木結合体を形成するための前記穂木及び前記台木間の接着及び治癒過程を向上する工程を更に含む、請求項53に記載の方法。

【請求項 70】

接ぎ木結合体を形成するための前記穂木及び前記台木間の接着及び治癒過程を向上する前記工程が、接ぎ木工程後の約14日～約21日の期間で行われる、請求項69に記載の方法。

【請求項 71】

前記接ぎ木された植物を、最終的な商業的プランター又は植木鉢、或いは他の成長用容器、或いは花壇に植える工程を更に含む、請求項53に記載の方法。

【請求項 72】

前記接ぎ木された植物を、１リットル以下の体積を有する最終的な商業的プランター又は植木鉢、或いは他の成長用容器に植える工程を更に含む、請求項７１に記載の方法。

【請求項７３】

前記接ぎ木された植物を、１リットル以上の体積を有する最終的な商業的プランター又は植木鉢、或いは他の成長用容器に植える工程を更に含む、請求項７１に記載の方法。

【請求項７４】

前記接ぎ木された植物を、約０．１リットル～約２リットルの体積を有する最終的な商業的プランター又は植木鉢、或いは他の成長容器に植える工程を更に含む、請求項７１に記載の方法。

【請求項７５】

サプライチェーンの後期段階、例えば最終使用者又は花屋に販売するために適した高幹接ぎ木植物を達成するために、前記最終的な商業的プランター又は植木鉢、或いは他の成長容器中の前記接ぎ木植物を、約６０日～約９０日間成長させる工程を更に含む、請求項７１に記載の方法。

【請求項７６】

所望の観賞的又は美学的様式、向上された高さ又は高幹植物、新しい根の発生又は植物の上部からの２次根の発生の回避、剪定傷の限定、強い根系、生物学的ストレスに対する許容性、非生物学的ストレスに対する許容性、寄生雑草に対する許容性、均一性、減少された葉の黄変、頑強な成長、所望の香り、色、向上された花部収率、向上された植物繁殖材料例えば切り穂の収率、向上された空中収率、新しい鑑賞的様式、１つの台木植物上の１つより多い種又は変種の組合せ、及びこれらの組合せから成る群より選択される、対応する非接ぎ木穂木植物に対して所望の観賞的及び／又は園芸的特徴を持つ高幹接ぎ木草質植物を産生する工程を更に含む、請求項５３に記載の方法。

【請求項７７】

請求項５３に記載の方法によって産生される高幹接ぎ木草質植物のいずれかの部分。

【請求項７８】

前記植物の部分が、根付き切り穂、根なし切り穂、接ぎ木根付き切り穂、根なし接ぎ木切り穂、植物細胞、組織培養物、成長点、花、及び植物のいずれかの他の無性生殖又は生殖性部分から成る群より選択される、請求項７７に記載の植物の部分。

【請求項７９】

請求項５３に記載の方法によって産生される高幹接ぎ木繁殖材料であって、前記繁殖材料が、高幹接ぎ木若木、高幹接ぎ木根付き切り穂、高幹接ぎ木根なし切り穂及び高幹接ぎ木実生から成る群より選択される、前記繁殖材料。

【請求項８０】

前記草質穂木と適合性の草質台木を選択する工程を更に含む、請求項５３に記載の方法。

【請求項８１】

前記台木を、少なくとも２つの異なった穂木と接ぎ木する工程を更に含み、前記穂木は、異なった変種に属し、前記台木と適合性である、請求項５３に記載の方法。

【請求項８２】

花部の色、果実の形、成長パターン、香り、及びこれらの組合せから成る群より選択される少なくとも１つの異なった特徴を有する前記異なった穂木を提供する工程を更に含む、請求項８１に記載の方法。

【請求項８３】

前記高幹接ぎ木植物を提供するように、所定の成長条件における高幹接ぎ木若木及び高幹接ぎ木根なし原材料から成る群より選択される高幹接ぎ木繁殖材料を産生し、そして成長させる追加の工程を含む、請求項５３に記載の方法。

【請求項８４】

前記若木を、根付き切り穂、実生、高幹接ぎ木根付き切り穂、及び接ぎ木実生から成る群より選択する工程を更に含む、請求項８３に記載の方法。

【請求項８５】

前記根なし原材料を、根なし切り穂及び高幹接ぎ木根なし切り穂から成る群より選択する工程を更に含む、請求項 8 3 に記載の方法。

【請求項 8 6】

前記根なし原材料を、プラグトレイ中で成長させる工程を更に含む、請求項 8 3 に記載の方法。

【請求項 8 7】

完成された接ぎ木高幹植物を産生するように、前記繁殖材料を成長させる工程を更に含む、請求項 8 3 に記載の方法。

【請求項 8 8】

- a . 草質穂木植物を用意し；
 - b . 前記穂木と適合性の台木植物を選択し；
 - c . 前記台木植物を根付かせ、少なくとも 8 0 % の発根潜在性を有する台木植物を選択し；
 - d . 少なくとも 1 0 c m の所定の幹高さ及び前記穂木と接ぎ木するために適した成長特徴を持つ直径最大 1 0 m m の台木を産生するように、所定の農業技術的条件下で前記台木を成長させ；
 - e . 前記台木と接ぎ木するために適した成長特徴を持つ穂木を提供するように、農業技術的条件下で前記穂木植物を成長させ；そして
 - f . 前記穂木を、少なくとも 1 0 c m の前記所定の幹高さで前記台木に接ぎ木し；
- これによって土壌伝播性害虫に許容性であるか又はそれがない穂木を含む高幹接ぎ木草質穂木を産生する；
- 工程を含む、土壌伝播性害虫に許容性であるか又はそれがない穂木を含む、草質高幹接ぎ木植物を産生するための方法。